

研究課題名	免疫抑制療法を導入した難治性小児ぶどう膜炎の検討
研究期間	実施許可日 ~ 2026年12月31日
研究の対象	2016年1月から2023年12月の間に、広島大学病院眼科でステロイド治療抵抗例に Immunosuppressive therapy (IMT)[メトトレキサート(MTX)、シクロスポリン(CsA)、アダリムマブ(ADA)、インフリキシマブ(IFX)]による治療を受けられた20歳未満の非感染性ぶどう膜炎の患者さん
研究の目的・方法	<p>研究目的：現在、ステロイド治療に抵抗性を示す難治性小児ぶどう膜炎の治療に、疾患修飾性抗リウマチ薬や生物学的製剤の有効性が示されていますが、本邦でこれらの治療を積極的に導入している施設は限られており、疾患の希少性からも疫学報告が限られている状況です。本研究によって、上記治療法の治療効果や眼合併症、副作用が明らかになれば、難治性小児ぶどう膜炎に対する治療の選択肢が広がり、臨床において大きく貢献できることが期待されます。</p> <p>研究の方法：本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。取得した情報は、氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにして研究に用います。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	カルテから使用する内容は、年齢、性別、病型、発症年齢、眼所見、手術歴、点眼治療内容、IMT治療開始までの期間、IMTの種類と使用期間、副作用、副作用出現までの期間、経過観察期間です。
外部への試料・情報の提供	本学単独で行う研究のため、外部への提供はありません・
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2023年6月9日）
個人情報の保護	試料・情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。
研究組織	<p>本学の研究責任者</p> <p>大学院医系科学研究科視覚病態学 職名 教授 氏名 坂口 裕和</p>
その他	
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表

されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

広島大学病院 眼科

担当者：講師 日山 知奈

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5246